

PAT-NO: JP401101224A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 01101224 A
TITLE: UPPER PART CAR BODY COVER WITH ROLLING AWAY
STORAGE BIN
PUBN-DATE: April 19, 1989

INVENTOR-INFORMATION:
NAME
HIGASHIYA, KAZUO

ASSIGNEE-INFORMATION:
NAME COUNTRY
HIGASHIYA KAZUO N/A

APPL-NO: JP62256747

APPL-DATE: October 12, 1987

INT-CL (IPC): B60J011/00

US-CL-CURRENT: 296/98, 296/FOR.110

ABSTRACT:

PURPOSE: To protect from insolation, rain, dust and the like from the above and to enable furnishing and storing to be done easily by fitting to a vehicle a storage bin which is equipped with a rolling away structure and which fixes a car body cover, and making such a constitution as to protect the upper part of the vehicle with this car body cover.

CONSTITUTION: When an upper part car body cover 9 with a rolling away storage bin is furnished, fixing to a vehicle is done with a vehicle fitting hardware 3, and a storage lid clasp 2 is undone, and a storage lid 1 is pulled out, and a fitting storage box 16 is manually turned to a furnishing

Page 10 Not Scan

hardware

15, and fixing to a vehicle main body or a bumper is done. When this action is repeated to the front part and the rear part of the vehicle, the upper part surface of the vehicle can be protected from insolation, rain, snow, frost, dust and the like from the upper part of the vehicle. When storing, the fixing of the furnishing hardware 15 is undone and the hardware 15 is turned to the 'stored state' 16, and a gradual return is made by means of the resilient force of a spring 6, and a storage lid upper part put-in portion 11' is put into the upper part 12 of the storage bin and a storage lid lower part put-in portion 13 is put into the lower part 14 of the storage bin, and fixing is done with the storage lid clasp 2. When this action is repeated at the front and rear of the vehicle, the car body cover 9 can be stored.

COPYRIGHT: (C)1989, JPO&Japio

⑪ 公開特許公報(A)

平1-101224

⑫ Int.Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 平成1年(1989)4月19日

B 60 J 11/00

F-6848-3D

審査請求 未請求 発明の数 1 (全7頁)

⑭ 発明の名称 巻取り収納庫付き上部車体カバー

⑮ 特 願 昭62-256747

⑯ 出 願 昭62(1987)10月12日

⑰ 発 明 者 東 谷 一 夫 兵庫県西宮市仁川町6-1-27

⑱ 出 願 人 東 谷 一 夫 兵庫県西宮市仁川町6-1-27

明 細 書

1. 発明の名称

巻取り収納庫付き上部車体カバー

2. 特許請求の範囲

巻取り構造と備えた収納庫に、車体カバーを固定し、車両に収納庫を取り付け、この車体カバーで車両上部面を保護するようにした巻取り収納庫付き上部車体カバー。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

この発明は、上部車体カバーと巻取り構造と備えた収納庫を車両に取り付け、手軽に車体カバーを装置、収納できるようにした巻取り収納庫付き上部車体カバーに関するものである。

(従来の技術)

従来の車体カバーは、主に上方からくる日射、雨、雪、霜、ほこり等から車両全体を保護するものであるが、第16図、第17図、第18図に示すよう

に、車体カバーの装置、収納に手間がかかる、外出時は衣服とよごしたり、収納時の保管場所を要し、不便な場合がある。

(実施例)

本発明の実施例を、第1図から第15図に基づいて説明する。

第2図、第3図、第4図、第5図に示すように1は収納フタ、2は収納フタ金具、3は車両取り付け金具、4は側面カバーである。第1図、第6図、第7図に示すように、5は中心軸、6はバネ、7は巻取りドラム受け軸、8は巻取りドラム、9は車体カバー、10は車体カバー固定部、15は装置金具、16は収納庫中仕切りである。第8図、第9図に示すように、11は車両本体下部、12はバンパーである。第4図に示すように、A-Aは第6図の切断箇所、B-Bは第7図の切断箇所である。

第1図、第6図、第7図に示すように、巻取り収納庫付き上部車体カバーの側面カバー4に中心軸5を固定し、中心軸5とバネ6のはしは、固定する。バネ6のもう一方のはしは、巻取りドラム

8に固定する。巻取りドラム8は、巻取りドラム受け軸7で回転するように取り付けらる。巻取りドラム8に、車体カバー9のほしと固定し、巻さける。車体カバー9のもう一方のほしは、収納フタ1に車体カバー固定部10で固定する。

第6図に示すように、巻取り収納庫付き上部車体カバーには、車体カバー巻取り構造を二機構構成し、第12図、第13図、第14図に示すように、一機構は車両前部と、一機構は車両後部とおおむね車体カバー9と巻取る機能を分担する。

第1図、第6図に示すように、収納フタ1は、収納庫本体に密着してゐるため、収納庫上部12に、収納フタ上部圧し込み部11と差し込み、収納庫下部14に、収納フタ下部圧し込み部13と差し込む。

第1図、第6図に示すように、装着金具収納時16は、装着金具取り付けネジ7で、手動で回転するように取り付けらる。

第1図、第2図、第3図、第4図に示すように、収納フタ止金具2は、収納庫本体に四箇所取り付け、それぞれ収納庫本体と、収納フタ1と車体カ

バー9収納時に固定するものである。

第1図、第2図、第3図、第4図、第5図、第10図に示すように、車両取り付け金具3は、車両に固定する。

第6図に示すように、収納庫中仕切り18は、収納庫本体の強度を増すように、中央に設けらる。

第6図、第7図に示すように、車体カバー9収納時は、中心軸5と巻取りドラム8に固定されたバネ6の反発力は小さく、第12図、第13図、第14図、第15図に示すように、車両に車体カバー9を装着する時は、収納フタ1と引き出すと、車体カバー9は、巻取りドラム8が回転しなから引き出され、中心軸5と巻取りドラム8に固定されたバネ6の反発力は大きくなり、第8図、第9図に示すように、装着金具15は車両本体下部1、又は、バンパー口からの脱走はない。収納する時は、バネ6の大きな反発力で、巻取りドラム8に車体カバー9を巻取る。

巻取り収納庫付き上部車体カバーを装着する時は、第1図、第10図に示すように、車両に車両取

り付け金具3で固定し、収納フタ止金具2をはずし、収納フタ1を引き出し、装着金具収納時16と装着金具15を手動で回し、第8図、第9図に示すように、車両本体下部1、又は、バンパー口に固定する。この動作と車両前部と車両後部に繰り返すと、第12図、第13図、第14図に示すように、車両の上方からくる日射、雨、雪、霜、ほこり等から車両を保護するだけでなく、巻取り収納庫を車両に取り付けに専らにより、車体カバーの装着、収納は衣服をよこすこととなく手軽にできる効果があり、又、車体カバーの収納場所がいらないので、トランクルームが広く使えるから大変便利である。

車体カバー9を収納する時は、第8図、第9図で示す、装着金具15と車両本体下部1、又は、バンパー口からはずし、第1図に示す装着金具15と装着金具収納時16を手動で回し、バネ6の大きな反発力で除々にとし、収納フタ上部圧し込み部11と収納庫上部12に、収納フタ下部圧し込み部13と収納庫下部14に差し込み、収納フタ止金具2で固定する。この動作と車両前部と車両後部に繰り返すと、車体カバー9は収納され、第11図に示すように、巻取り収納庫付き上部車体カバーは、車両に固定されている状態で、車両は、走行できる。

(発明の効果)

この発明は、上部車体カバーと巻取り収納庫と固定し、車両に取り付けただけのもので、上方からの日射、雨、雪、霜、ほこり等から車両を保護するだけでなく、巻取り収納庫を車両に取り付けに専らにより、車体カバーの装着、収納は衣服をよこすこととなく手軽にできる効果があり、又、車体カバーの収納場所がいらないので、トランクルームが広く使えるから大変便利である。

4. 図面の簡単な説明

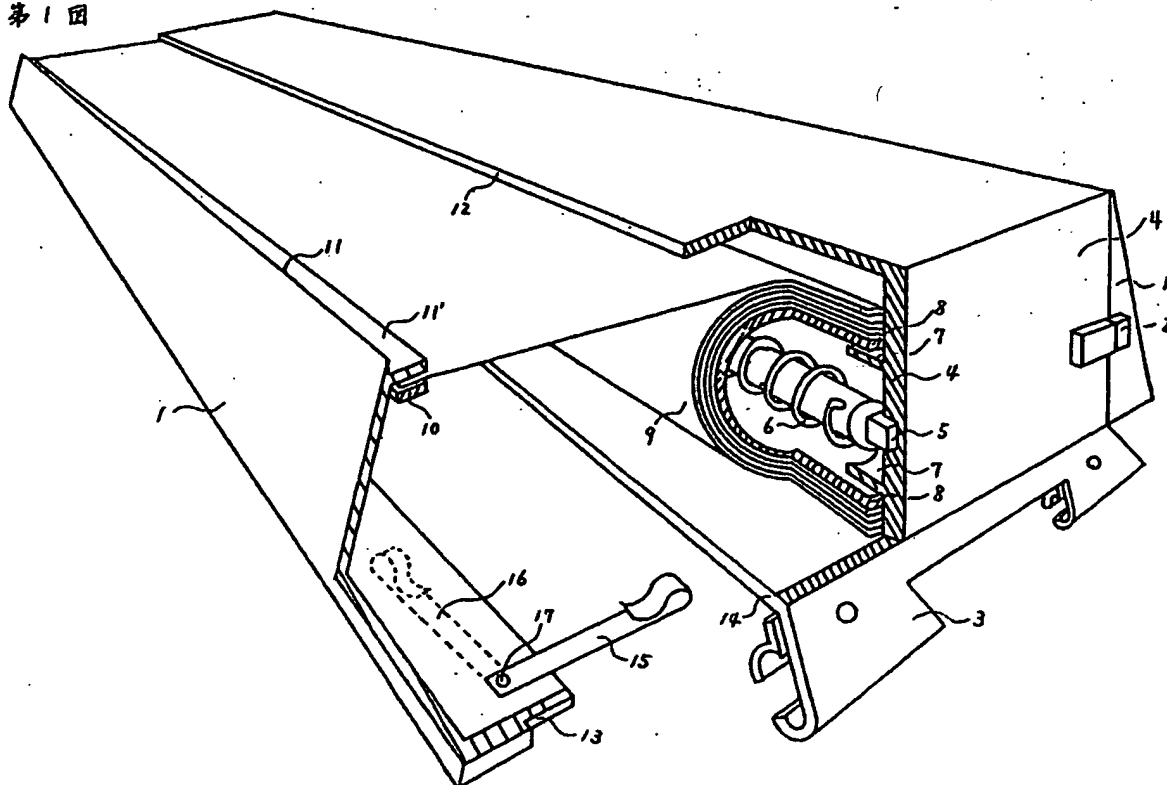
第1図から第15図は、本発明の実施例を示すもので、第1図は斜視図の部分断面図、第2図は側面図、第3図は斜視図、第4図は平面図、第5図は正面図、第6図、第7図は巻取り構造の断面図、第8図、第9図は装着金具を装着した断面図、第10図は巻取り収納庫付き上部車体カバーと車両に取り付けに金具の断面図、第11図は巻取り収納庫付き上部車体カバーと車両に取り付けに斜視図、第12図、第13図、第14図、第15図は巻取り収納庫付き上部車体カバーと車両に装着した状態を示す

斜視図、第16回、第17回、第18回は従来例と示す。
斜視図である。

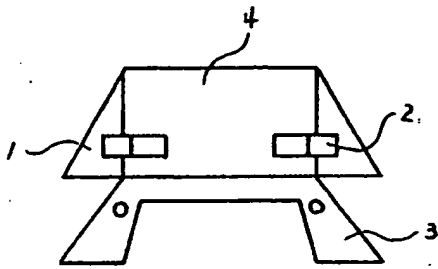
1は収納フタ、2は収納フタ止金具、3は車両取付付金具、4は側面カバー、5は中心軸、6はバネ、7は巻取りドラム受け軸、8は巻取りドラム、9は車体カバー、10は車体カバー固定部、11は収納フタ上部、11'は収納フタ上部差し込み部、12は収納庫上部、13は収納フタ下部差し込み部、14は収納庫下部、15は装置金具、16は装置金具収納時、17は装置金具取付付金具、18は収納庫中仕切り、19は車体カバー固定部金具、イは車両本体下部、ロはバンパー、ハは収納庫本体、ニは従来車体カバー、A-A'は第6図の切斷箇所、B-B'は第7図の切斷箇所である。

特許出願人
東谷一夫

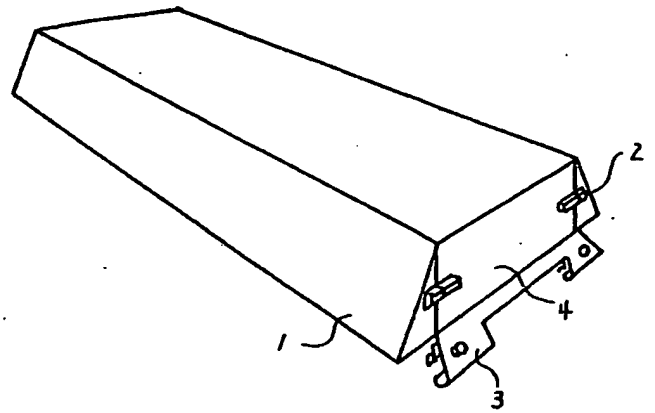
第 1 回



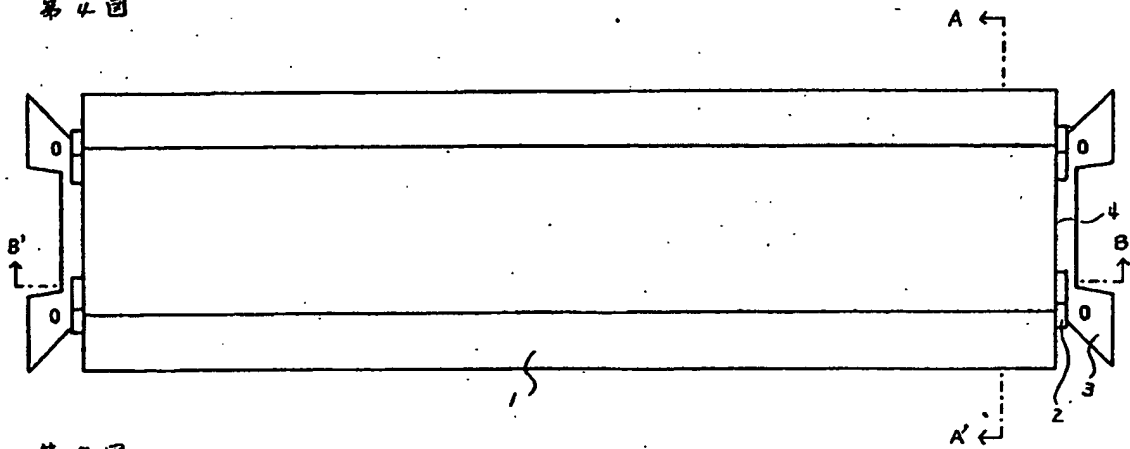
第2図



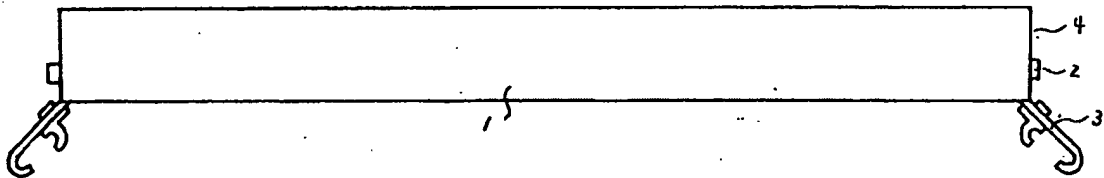
第3図



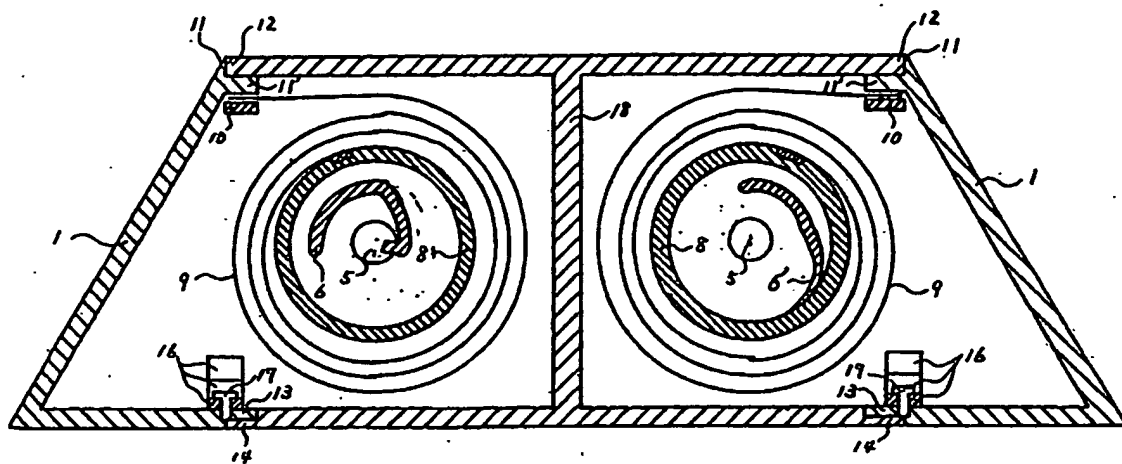
第4図



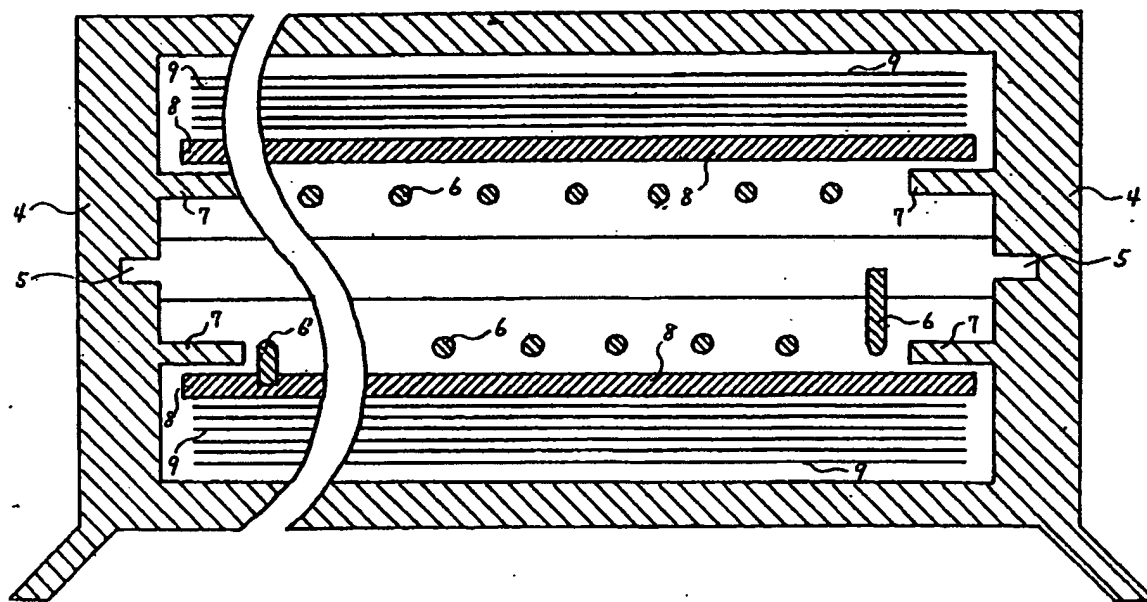
第5図



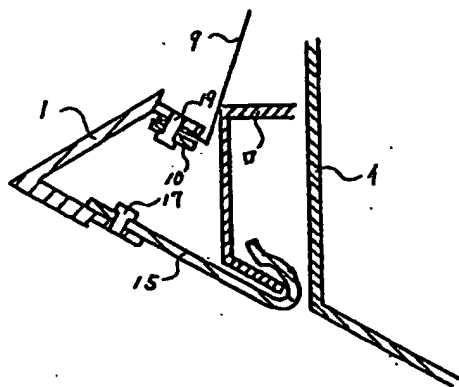
第6圖



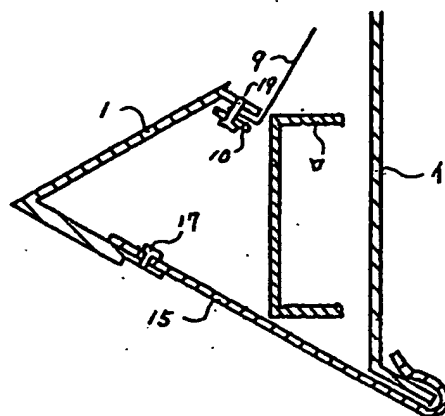
第7圖



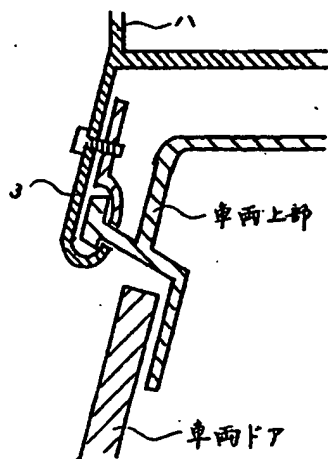
第8回



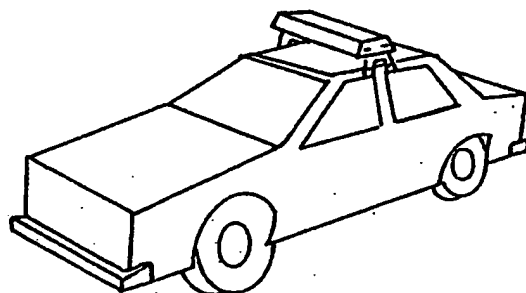
第9回



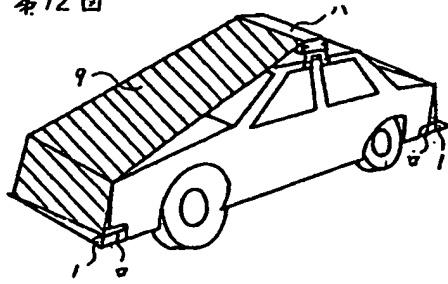
第10回



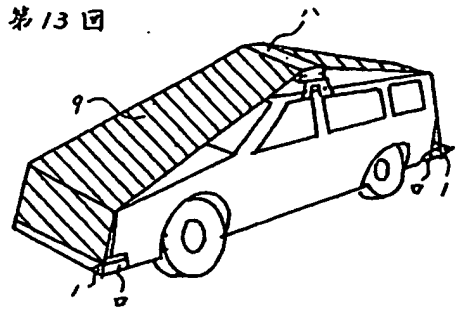
第11回



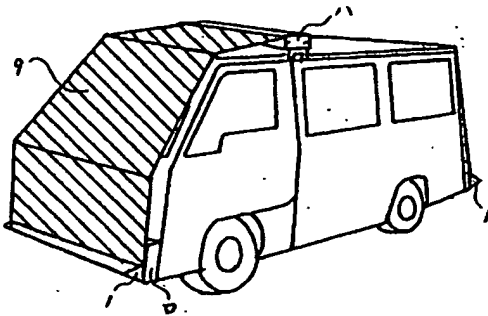
第12回



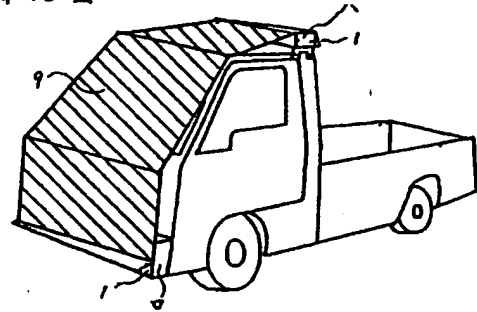
第13回



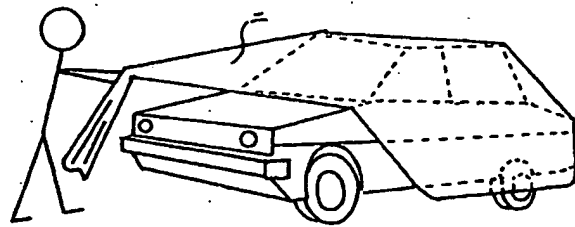
第14回



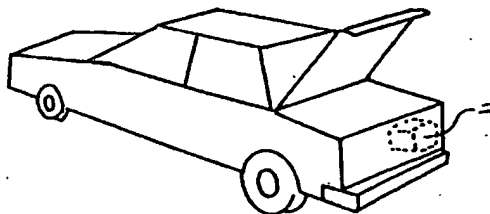
第15回



第16回



第18回



第17回

